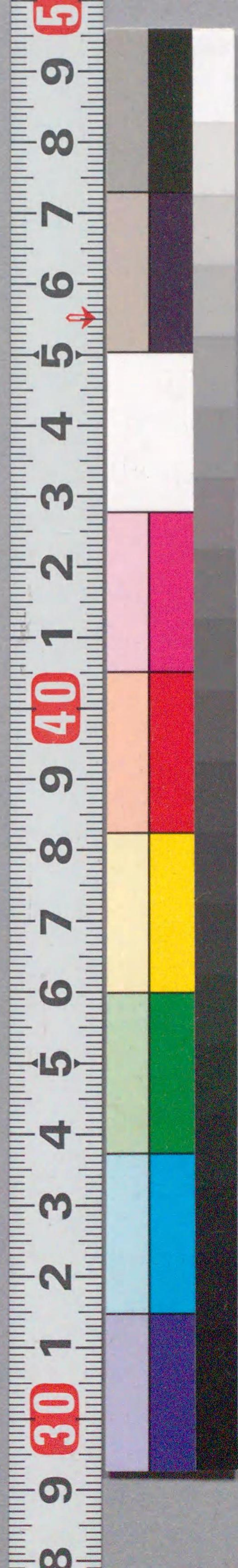




207
962





五湖亭貞景画

十返入舎一九著

仙雀堂 上梓

上

外題 應需 岡貞色



50
49
48
47
46
45
44
43
42
41
40
39
38
37
36
35
34
33
32
31
30

二代目
十返舎一九作
五湖亭貞景画

全六冊

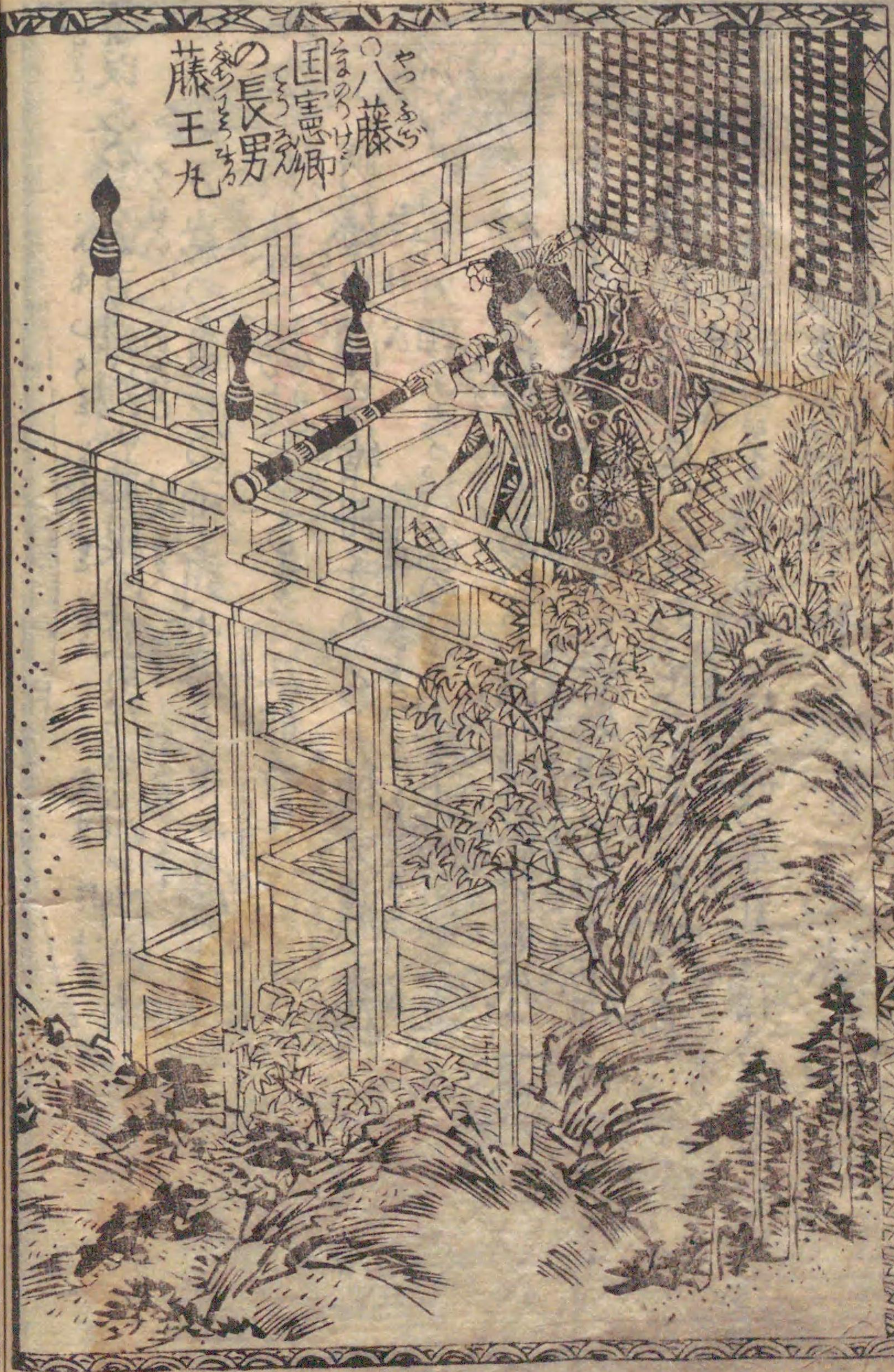
藤王傳記
前篇

癸巳孟春
仙鶴堂上梓
新板發行

卷之一

雨段ある四方津海は藤浪の波もたて治る御代も
万歳の龜戸の神前も盛り争ふ藤のあらし
於藤が揚枝不至るまで江都の自慢や此糸の
所縁色濃き繪冊子あつた種方藤王傳
記の外題もあつた八色の昔も閑き譚も塗立
あやまが相する原かき大津の宮れ時代
ありしと傳へるその花房は長物語と六冊全備
お終れといふも藤子縁あはるるを需む紋も等
形の藤丸の刺貫もはけの八巻は姓の發起と採合て著せよ
天保 壬辰季春脱稿
四癸巳孟春發兌
十返舎一九誌







○三枝太郎持定の愛妾 豊機
むし中を
後と
あせよ
あやのこの
人たうりせ
うり 多子多く
教訓亭

紀山又因因
あはき
たれ
冷

十かへりけを
あし毛
ねはる枝

○藤王丸
○大納言
○国洛卿
○後八藤
○後八藤
○大納言
○国洛卿

再出

の北の方
の北の方
の北の方
の北の方

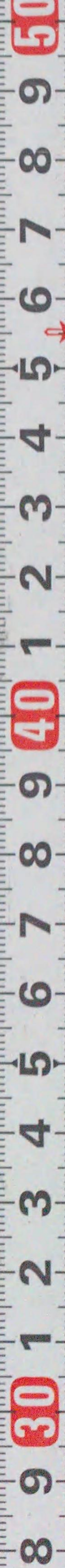
藤王丸
大納言
国洛卿
後八藤
後八藤
大納言
国洛卿





卷之二





豊穢の方材物語の図

○はてしなくとて... 豊穢の方材物語の図... 豊穢の方材物語の図... 豊穢の方材物語の図...



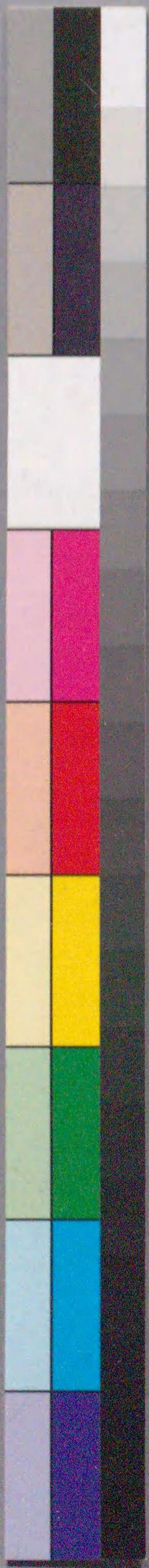
されがまん... 豊穢の方材物語の図... 豊穢の方材物語の図... 豊穢の方材物語の図...

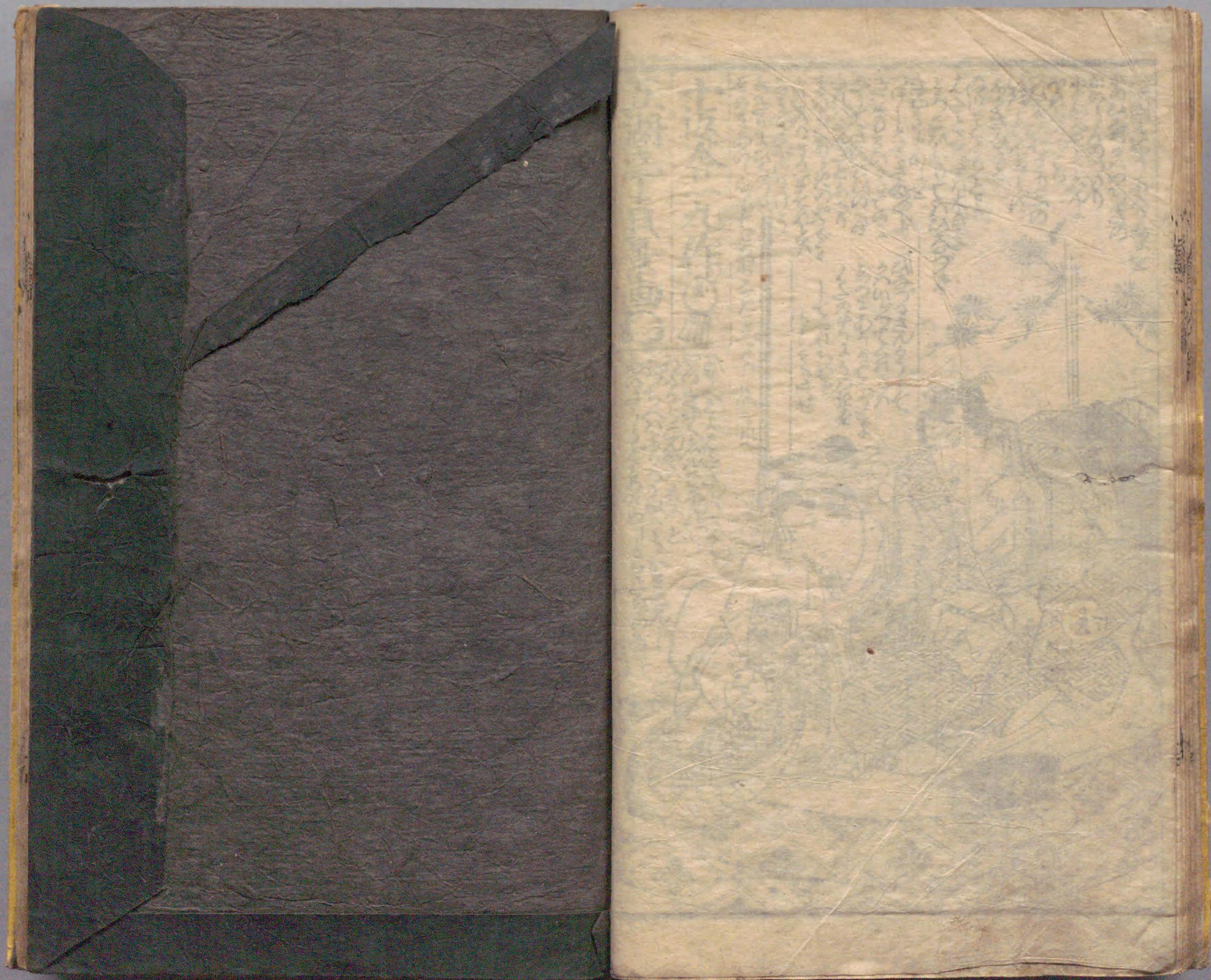
そのまゝ... 豊穢の方材物語の図... 豊穢の方材物語の図... 豊穢の方材物語の図...



鳳卵杯... 唐の玄宗帝... 豊穢の方材物語の図... 豊穢の方材物語の図... 豊穢の方材物語の図...







国立国会図書館 八萼藤王伝記 6巻 207-962

ガラス使用



八
傳記
藤王
全六冊

突巳春

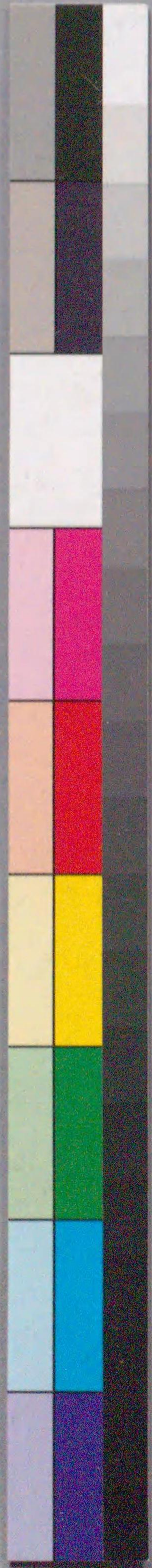


卷之四

Handwritten text in the top left corner, including a red seal. The text is dense and appears to be a preface or commentary related to the illustration below.

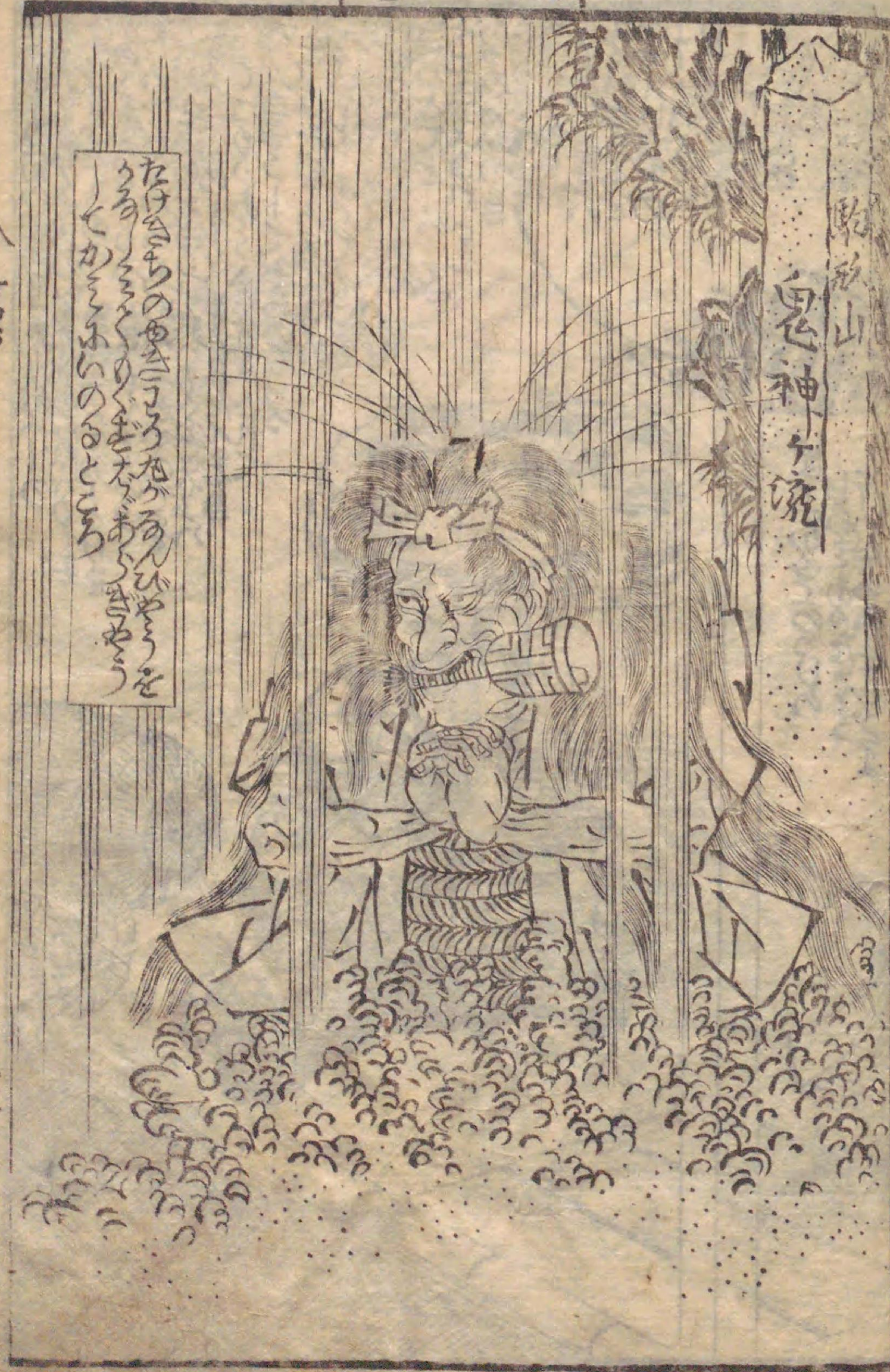


八の萼王伝記
一丸作
貝景画
通油甲
鶴屋喜右衛門板





巻の五



たけのこちのあまのこころなげあひびやうを
くろくろくろくろくまをあらうまきやう
しくかきふいのるところ

白蛇神ノ流

たけのこちのあまのこころなげあひびやうを
くろくろくろくろくまをあらうまきやう
しくかきふいのるところ



あまのこころなげあひびやうを
くろくろくろくろくまをあらうまきやう
しくかきふいのるところ

ひらひら
まはる
はる



あつてのまはりの
ちうけつがここの
んとしてあつて
よむとせう
けつはげあつ
あつてのまはりの
ちうけつがここの
んとしてあつて
よむとせう
けつはげあつ
あつてのまはりの
ちうけつがここの
んとしてあつて
よむとせう
けつはげあつ



あつてのまはりの
ちうけつがここの
んとしてあつて
よむとせう
けつはげあつ
あつてのまはりの
ちうけつがここの
んとしてあつて
よむとせう
けつはげあつ

あつてのまはりの
ちうけつがここの
んとしてあつて
よむとせう
けつはげあつ
あつてのまはりの
ちうけつがここの
んとしてあつて
よむとせう
けつはげあつ
あつてのまはりの
ちうけつがここの
んとしてあつて
よむとせう
けつはげあつ

あつてのまはりの
ちうけつがここの
んとしてあつて
よむとせう
けつはげあつ







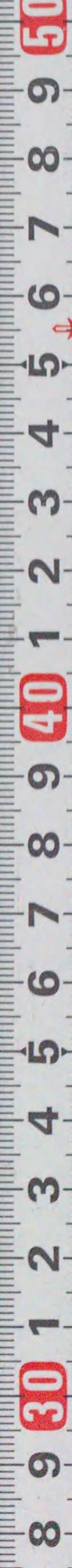
火の玉の
 光を
 照らす
 雲の
 霧を
 散らす
 雨の
 降る
 風の
 吹く
 雷の
 鳴る
 龍の
 舞う
 鬼の
 舞う
 神の
 舞う
 龍の
 舞う
 鬼の
 舞う
 神の
 舞う

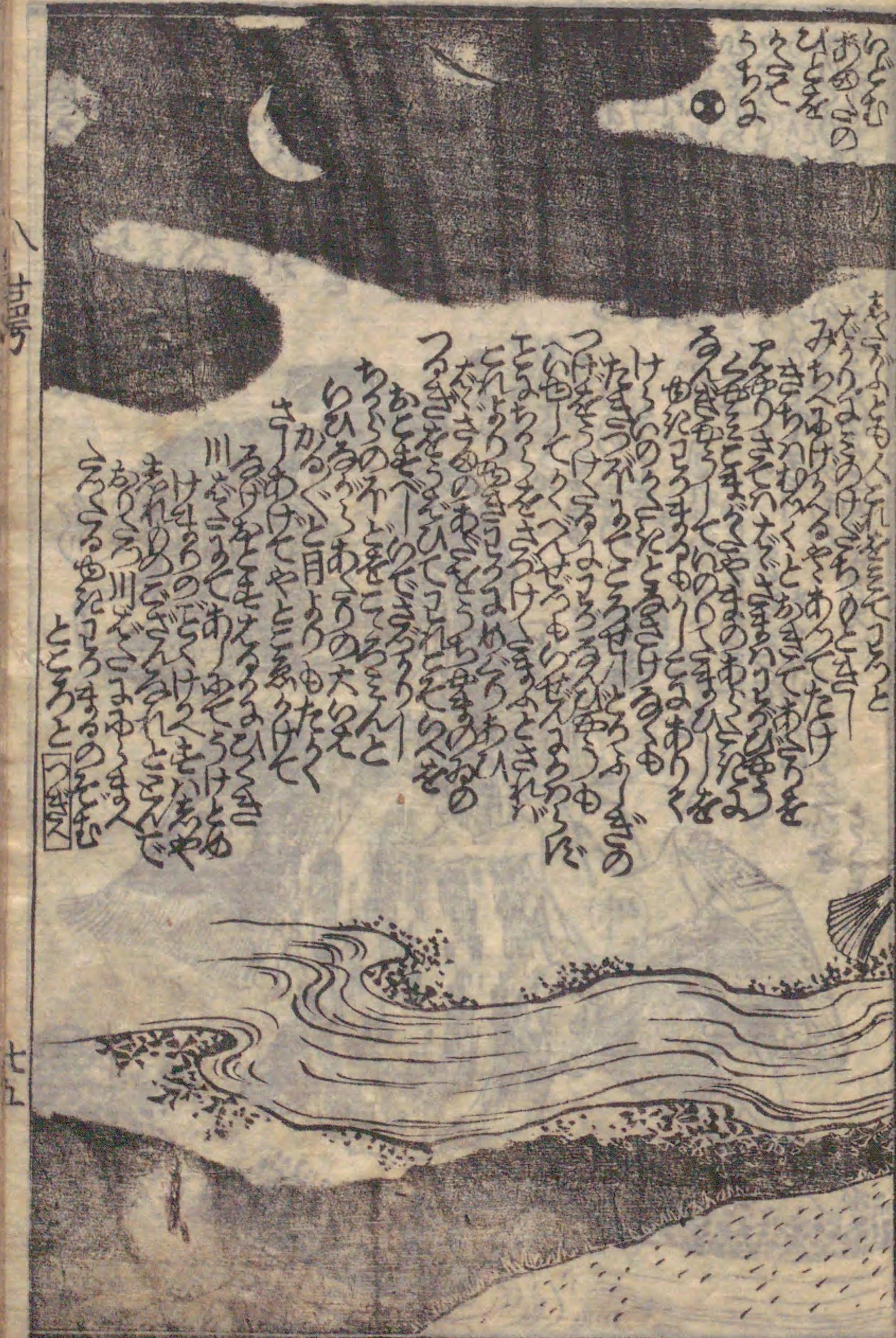
七十四

七十四

駿形山の
 鬼神が籠
 雪若丸
 藻屑
 波女
 害ま

十三





六の巻

五の巻のついでに... (Main text block on the left page, top section)

六の巻のついでに... (Main text block on the left page, bottom section)





あはれを
コトナ
ひこらよりあぐ
たぐらうの
やまごころの
あはれを
コトナ
ひこらよりあぐ
たぐらうの
やまごころの

あはれを
コトナ
ひこらよりあぐ
たぐらうの
やまごころの
あはれを
コトナ
ひこらよりあぐ
たぐらうの
やまごころの
あはれを
コトナ
ひこらよりあぐ
たぐらうの
やまごころの









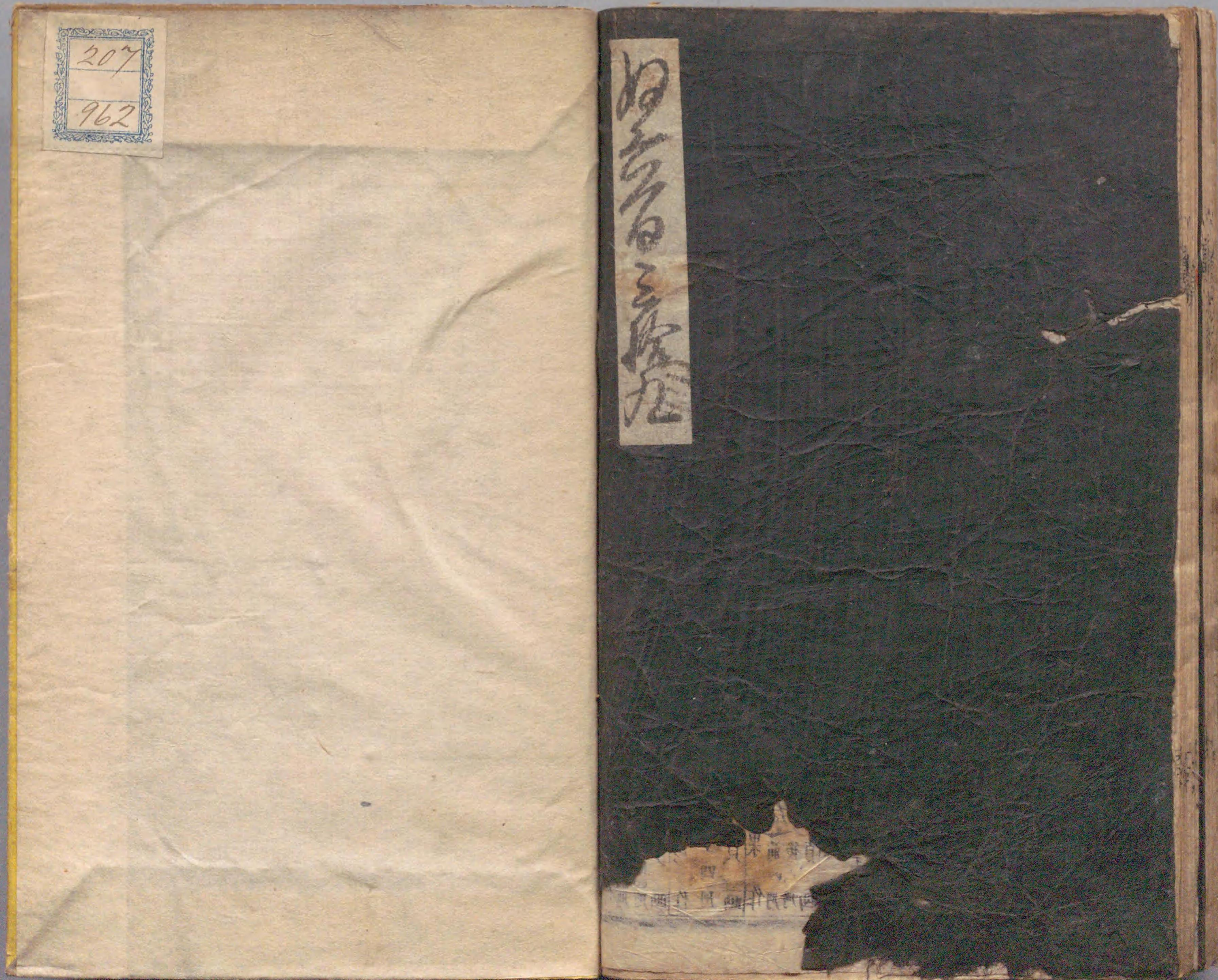
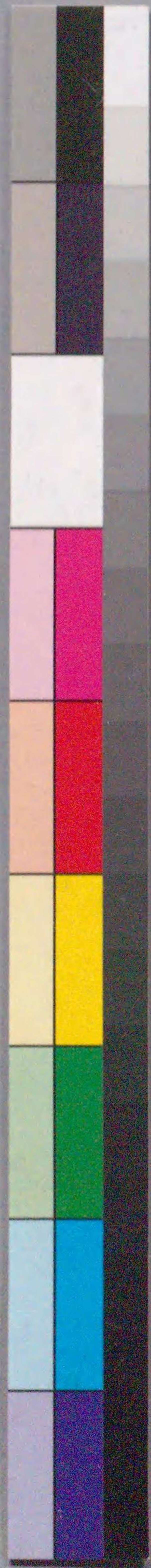
成馬香	仙女香	修紫田舎源氏	霞帯	八萼藤王傳記	三國志畫傳第五編	傾城水滸傳第十二編	年中五節供雅講譯	行事	百人一首童講譯	浮世世說	花街雀竹夜遊	國字水滸傳第十二編	星下梅花咲	春遊霞彩色	書物錦繪	問屋鶴屋喜右衛門
柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳	柳
貞	貞	貞	貞	貞	貞	貞	貞	貞	貞	貞	貞	貞	貞	貞	貞	貞
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊



二代目
十返舎一九著

五湖亭貞景画

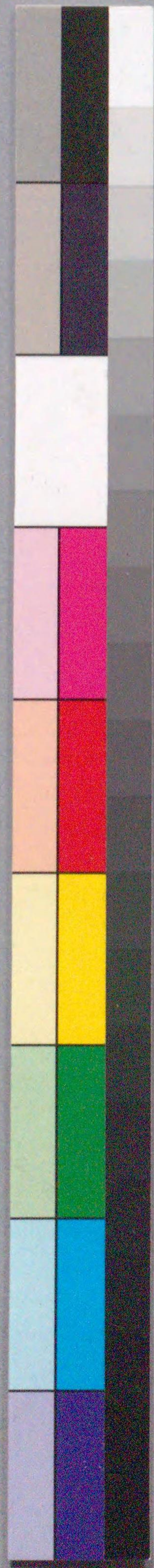




207
962

八萼藤王伝記 6巻





国立国会図書館 八萼藤王伝記 6巻 207-962



ガラス使用

